

【資料2】

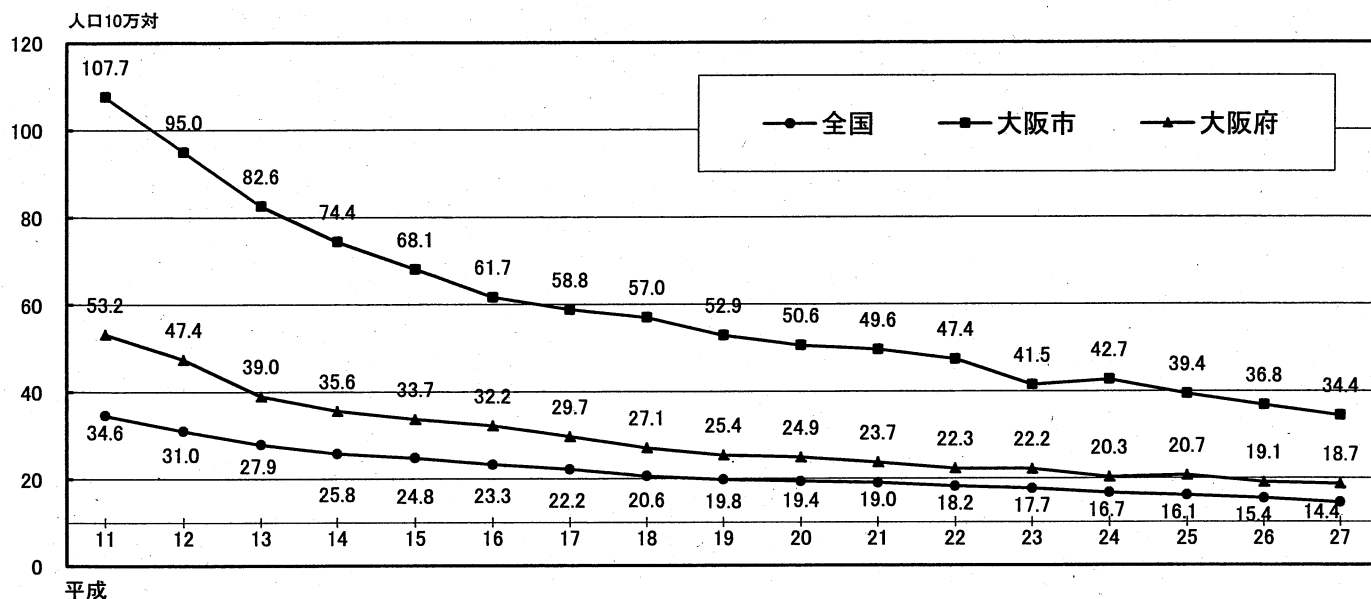
大阪市の結核2016（抜粋）

大阪市の結核 2 0 1 6

平成 2 7 年結核登録者情報調査年報集計結果速報（抜粋）

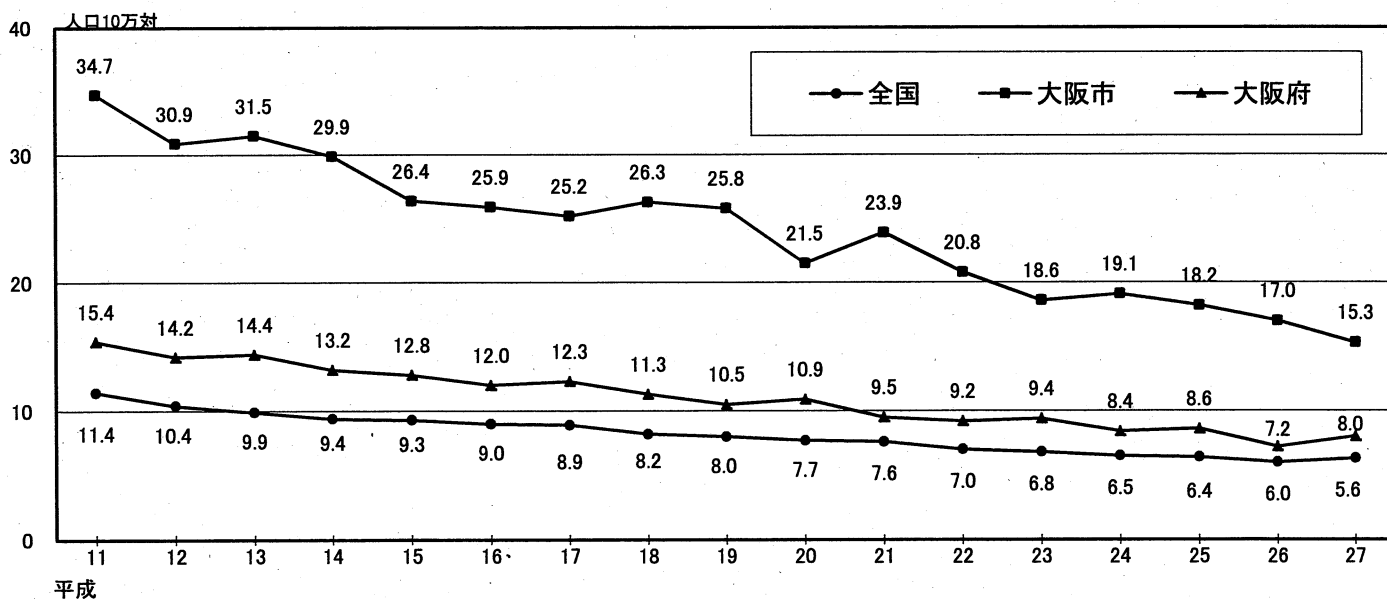
- 1 結核発生動向
- 2 患者発見
- 3 結核医療
- 4 コホート分析による治療評価
- 5 接触者健診
- 6 予防

1 結核罹患率の推移 平成11年～平成27年



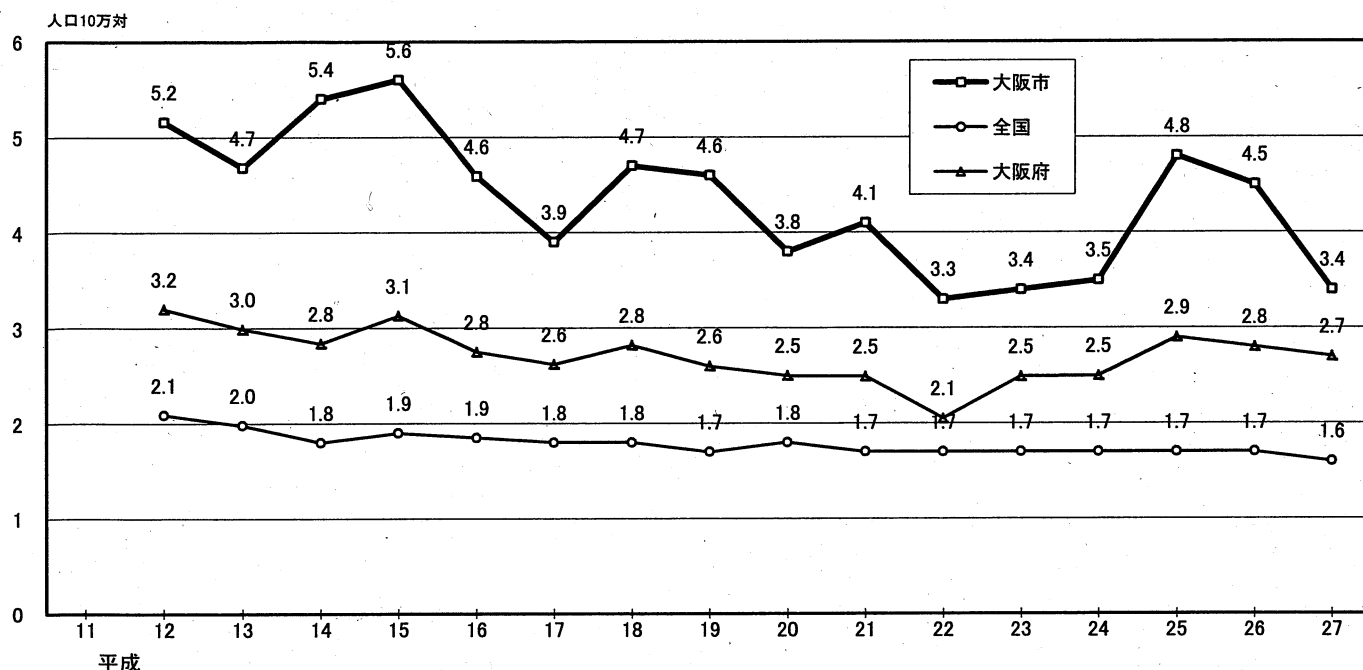
- 全国の結核罹患率は、平成11年の34.6から年々低下し、平成27年は14.4であり、減少率は58.4%であった。一方大阪市の罹患率は、平成11年107.7から平成27年34.4であり、減少率は68.1%であった。平成26～27年は、全国で6.5%、大阪市で6.5%の減少率であった。

2 喀痰塗抹陽性肺結核患者罹患率の推移 平成11年～平成27年



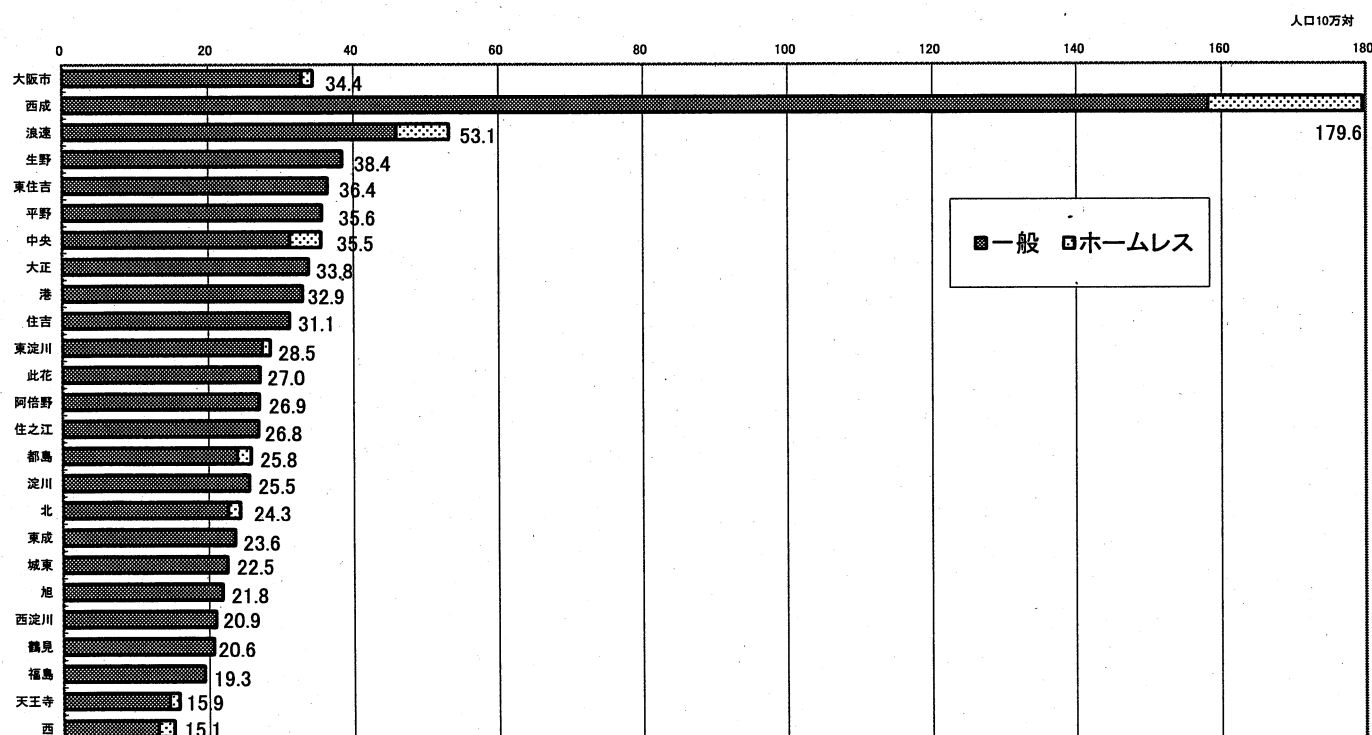
- 喀痰塗抹陽性肺結核患者の罹患率は、全国では平成11年11.4から平成27年5.6まで低下し、その間の減少率は50.9%であった。一方大阪市の罹患率は、平成11年34.7から平成27年15.3まで低下しており、減少率は55.9%であった。

3 結核死亡率の推移 平成11年～平成27年



- 死亡率は、全国は平成11年2.3から平成27年1.6に低下しており、H26年までの6年間は横ばいであったが、H27年は平成11年以降で最も低かった。一方大阪市は平成11年6.9から平成27年3.4に低下していたが、全国の2.1倍であった。同年の大阪市の全結核罹患率は全国の2.4倍であったことより、大阪市は全国より死亡率が低い可能性が示唆された。

4 区別 結核罹患率（一般・ホームレス）（平成27年）



※ 年末時点での所在地等で集計している。他都市へ転出した患者については、転出直前の所在地等で集計している。

- 24区別の罹患率では、平成27年西成区179.6と最も高く、昨年の174.1より上昇していた。次いで浪速区が53.1と高かった。ホームレス患者は、大阪市全体では平成27年42名（4.5%）で、平成26年42名（4.3%）と比較し、患者数としては同数であったが、割合としては増加していた。

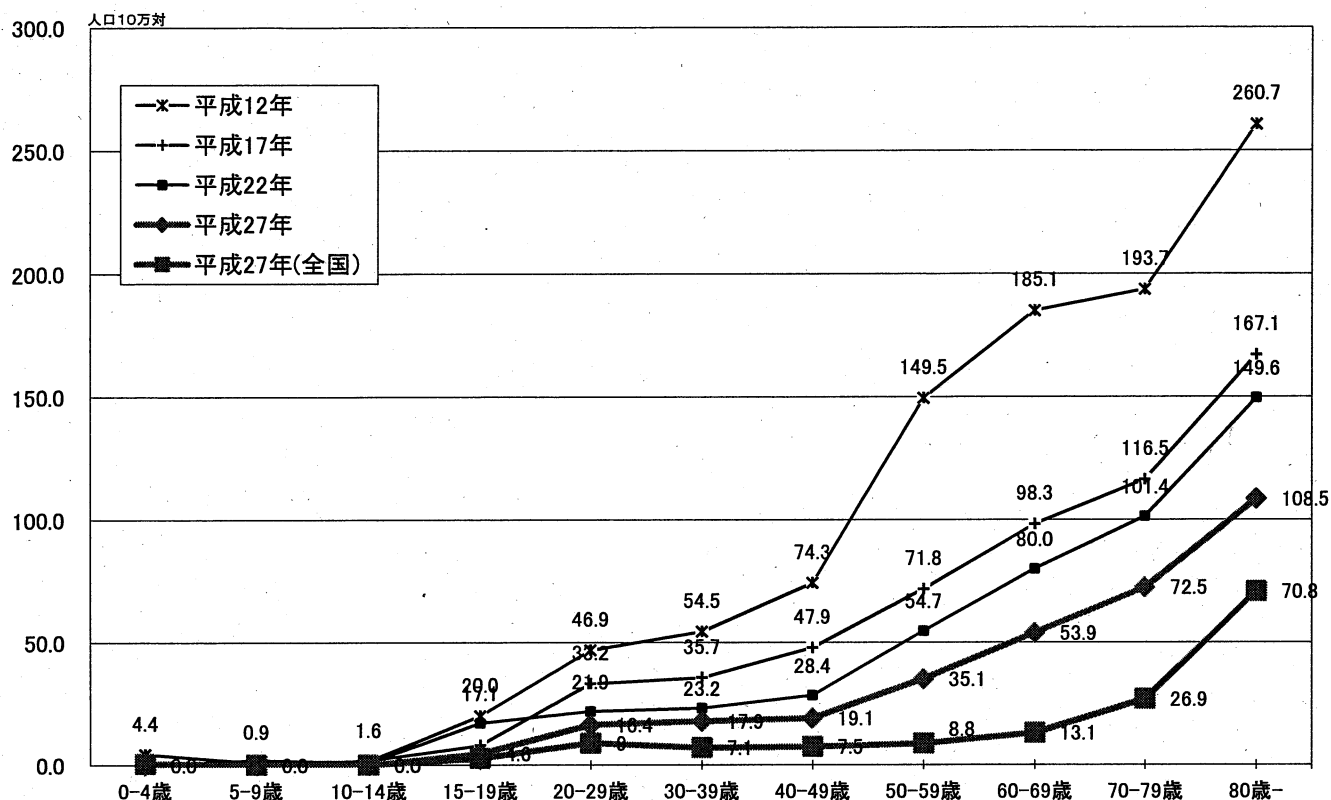
5 結核新登録患者数・罹患率（平成27年）

	H27. 10. 1現在 推計人口 (人)	新登録 患者数 (人)	結核罹患率 (人 口 10 万対)	喀痰塗抹陽性肺 結核患者数 (人)	喀痰塗抹陽性肺結核罹 患率 (人口 10 万対)
大 阪 市	2,691,742	925	34.4	412	15.3
北	123,679	30	24.3	10	8.1
都 島	104,735	27	25.8	6	5.7
福 島	72,463	14	19.3	7	9.7
此 花	66,640	18	27.0	7	10.5
中 央	93,037	33	35.5	15	16.1
西	92,418	14	15.1	4	4.3
港	82,063	27	32.9	12	14.6
大 正	65,172	22	33.8	9	13.8
天 王 寺	75,662	12	15.9	8	10.6
浪 速	69,673	37	53.1	13	18.7
西 淀 川	95,537	20	20.9	11	11.5
淀 川	176,411	45	25.5	20	11.3
東 淀 川	175,587	50	28.5	25	14.2
東 成	80,592	19	23.6	6	7.4
生 野	130,194	50	38.4	18	13.8
旭	91,619	20	21.8	15	16.4
城 東	164,464	37	22.5	11	6.7
鶴 見	111,528	23	20.6	11	9.9
阿 倍 野	107,750	29	26.9	8	7.4
住 之 江	123,035	33	26.8	14	11.4
住 吉	154,315	48	31.1	21	13.6
東 住 吉	126,391	46	36.4	27	21.4
平 野	196,839	70	35.6	34	17.3
西 成	111,938	201	179.6	100	89.3

6 一般・ホームレス別結核新登録患者数・罹患率（平成27年）

	新登録患者数 (人)			罹患率 (人口 10 万対)		ホームレス患 者の占める割 合 (%)
	一般	ホームレス	全体	一般のみ	計	
大 阪 市	883	42	925	32.8	34.4	4.5
北	28	2	30	22.6	24.3	6.7
都 島	25	2	27	23.9	25.8	7.4
福 島	14	0	14	19.3	19.3	0.0
此 花	18	0	18	27.0	27.0	0.0
中 央	29	4	33	31.2	35.5	12.1
西	12	2	14	13.0	15.1	14.3
港	27	0	27	32.9	32.9	0.0
大 正	22	0	22	33.8	33.8	0.0
天 王 寺	11	1	12	14.5	15.9	8.3
浪 速	32	5	37	45.9	53.1	13.5
西 淀 川	20	0	20	20.9	20.9	0.0
淀 川	45	0	45	25.5	25.5	0.0
東 淀 川	48	2	50	27.3	28.5	4.0
東 成	19	0	19	23.6	23.6	0.0
生 野	50	0	50	38.4	38.4	0.0
旭	20	0	20	21.8	21.8	0.0
城 東	37	0	37	22.5	22.5	0.0
鶴 見	23	0	23	20.6	20.6	0.0
阿 倍 野	29	0	29	26.9	26.9	0.0
住 之 江	33	0	33	26.8	26.8	0.0
住 吉	48	0	48	31.1	31.1	0.0
東 住 吉	46	0	46	36.4	36.4	0.0
平 野	70	0	70	35.6	35.6	0.0
西 成	177	24	201	158.1	179.6	11.9

7 年齢階級別全結核罹患率の推移



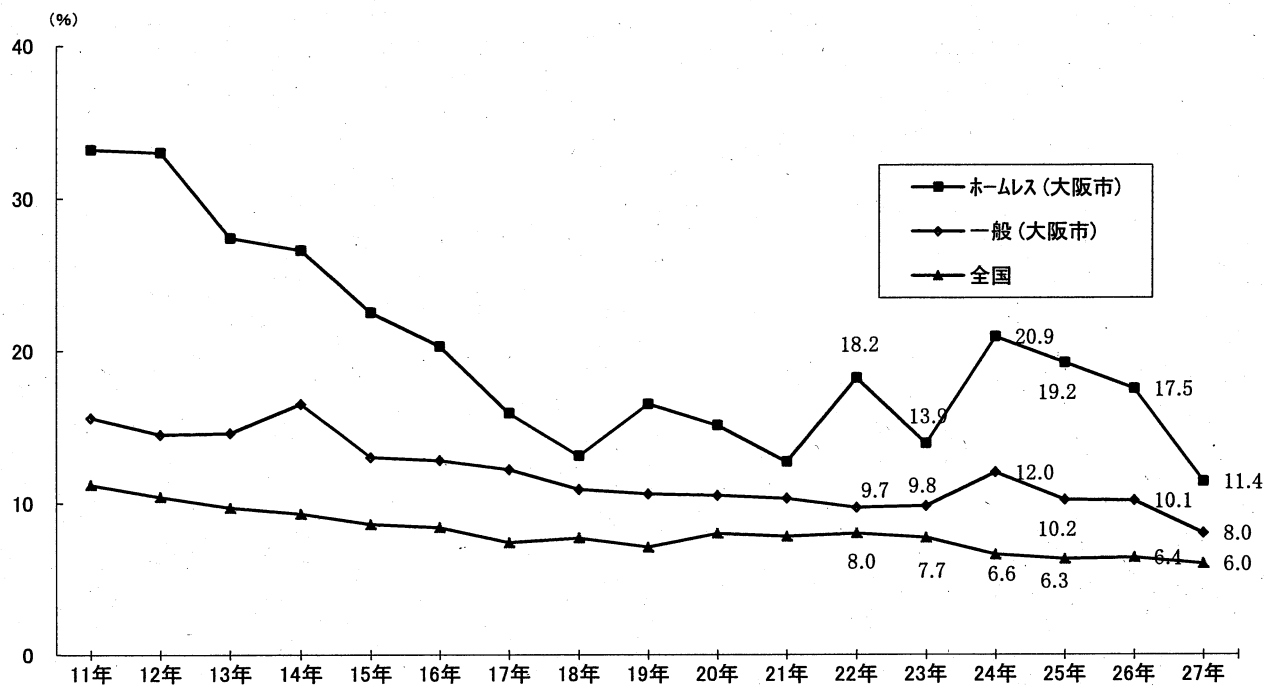
- 平成22年から27年にかけて、40代以上の各年代の罹患率の減少率は25%を超えていたが、50代以上より罹患率30を超え、80代以上の罹患率が108.5と最も高かった。全国と比較すると、特に50代、60代の罹患率が高く、それぞれ4.0倍と4.1倍であった。

8 小児結核患者数の推移

年齢	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
0～4歳	0	1	1	0	1	0
5～9歳	2	0	0	0	0	0
10～14歳	1	0	1	1	2	0
計	3	1	2	1	3	0

- 平成22年から平成26年にかけて、毎年1～3例の小児結核患者の登録があったが、平成27年は、登録がなかった。

9 一般・ホームレス別肺結核患者再治療割合の推移



○ 平成27年は、26年に比べ一般は10.1%から8.0%へ、ホームレスは17.5%から11.4%へといずれも減少した。

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
ホームレス(大阪市)	10/72	9/43	10/52	7/40	4/35
一般(大阪市)	89/910	110/918	89/874	82/808	62/774
全国	1,351/17,519	1,091/16,432	1,013/15,972	968/15,149	851/14,123